



めあて「二つじのものの中がら取りだすおまつに、ひょうの二つじをききかいて文しようを書こう。」

一 大石さんは、りんごをなしくくらへ、分かったことをひょうに書きました。

【大石さんの ひょう】と【大石さんの 文しよう】を見て、つぎの問題にこたえましょう。

【大石さんの ひょう】

	りんご	なし
色	赤い	うすいみどり色
①	丸い	丸い
②	なしと同じ	りんごと同じ
食べ方	かわをむいて、食べる	かわをむいて、食べる

【大石さんの 文しよう】

ぼくは、りんごをなしくくらべました。同じところは、三つあります。どちらも丸い形です。大きさは同じくらいです。どちらも
ちがうところは、色です。りんごは赤いけれど、なしは、うすいみどり色です。

「同じところ、ちがうところ」より

(平成二十七年 東京書籍)

1 【大石さんの ひょう】の①、②には何をくらべたのが分かることばが入ります。【大石さんの 文しよう】の中のことばをつかって、書きましょう。

①

②

2 大石さんは、二つじのものをくらべて分かったことを文しように書きました。【大石さんの 文しよう】の ア には、どのようなことばが入りますか。【大石さんの ひょう】の中のことばをつかって、マスにあうように書きましょう。

どちらが

※次のページにも問題があります。

めあて 文しよう中の大じなことを三線をつけて読もう。

二 つじの文しようを読んで、あどの問題にこたえましょう。

まほうの ぬの 「ふるしき」

ふるしきは、いろいろな 形や 大きさの ものを つつんで はこぶ ことができます。丸くて 大きな すいかも、四角い はこも、細ながい びんも、どれも うまく つつむ ことができます。つつむ ものに あわせて、ぬのを むすぶ ことができます。 また、ふるしきは、どこにでも もちあるく ことができます。小さく おりたたむ ことができます。

① ふるしきは、くりかえし つかう ことができます。スーパーマーケットの ふくろや 紙の ふくろと くらべると、やぶれにくいからです。このように、ふるしきは、とても べんりな ものです。

ふるしきは、まるで まほうの ぬの のようです。

「ふるしきは、どんなぬの」より(平成二十七年 東京書籍)

1 ①にあてはまることばを、つぎのアからウまでの中からえらんで、きこうで書きましょう。

ア まず イ ですから ウ さらに

2 なぜ、ふるしきは、どこにでももちあるくことができるのですか。その理由を文しようから八字で書きぬきましょう。

3 作者は、いろいろなことができあがるふるしきのことば、何にたとえていますか。文しようから六字で書きぬきましょう。